

進路通信

2026（令和8）年5月13日

第6号

枚方市立中宮中学校

公立高等学校・私立高等学校を知ろう！ その2

○公立高等学校（前号から続き）

昼夜間単位制

昼夜間単位制昼夜間単位制は10時30分～21時の時間帯で行われている授業を選択し、3～6年で卒業することができるので、自分のライフスタイルに合わせて学ぶことができます。

（中央）

夜間定時制

普通科・工業に関する学科・商業に関する学科・総合学科の高等学校があります。午後5時30分～9時頃まで、毎日4時間の授業があります。通常4年で卒業するところを、通信制の授業と併修することで、3年で卒業できるシステムを取り入れている学校もあります。

（寝屋川・大手前）

通信制

自学自習が基本で、スクーリング（週2日から3日、夏休みに数日、日曜日などに面接指導を受けに行くこと）、教科書などをもとにレポートを作成し添削指導を受けながら学習します。

（桃谷）

○私立高等学校

私立学校は、創立者が求める教育に沿った人材育成の実現を教育理念として大切にしています（建学の精神）。建学の精神は、創立から学校文化や教育内容、歴代の先生に継承されるため、入学後にギャップを感じず学校生活を送ることができます。

私立高校はどの学校も独自の教育目標を持ち校風も学校によって異なり、宗教・男女別学などの様々な特色があります。普通科の高校がほとんどで、公立高校とちがい、専願受験・併願受験ができます。進路指導・クラブ活動・生活指導を重視しており、大学併設校も多く、ここ数年希望者が増加しています。学区制はなくどこでも自由に受験できますが、京阪神地区の学校はほとんど試験日が同じです。

全日制高等学校について

- ① 男子校・女子校・共学校があります。最近の流れとしては、共学の学校が増えつつあります。
- ② さまざまなコースがあります。コース設定は卒業後の進学先によって分けられていることがほとんどです。生徒自身がそのコースで学ぶイメージを十分に持った上で進学する必要があります。
- ③ 生活指導面に厳しく、場合によっては「停学」「退学」などの措置がとられる場合があります。特に、「欠席」「遅刻」「服装面の乱れ」「ピアスの穴」「頭髪の色」などにおいて厳しく指導している学校が多々あります。
- ④ 学校設立の目的が公立とは違い、キリスト教・仏教を建学の精神とするところや独自の教育の充実にか力をいれるところなどさまざまな特色があります。
- ⑤ 入試においては、学力だけでなく、「面接」も重視しています。面接は当日の高校へ来る様子から面接を待っている様子まで様々なところでチェックされます。
- ⑥ 最近は「指定校推薦」という形で大学に進学できる学校が増えています。パンフレットなどに各校の進学先が記載されています。卒業後、どのような進路に進みたいかというイメージを持つことも大切です。
- ⑦ コースによっては必ずクラブに入部しなければならないところもあります。また、特進コースでは遅くまで授業があるため、クラブ活動に参加できなかったり、活動や指定校推薦に制限があったりする場合もあります。事前によく調べてから進学する必要があります。

通信制高等学校について

卒業条件は次の3つです。

1, 3年以上の在籍 2, 74単位の取得 3, 特別活動30単位以上の取得

- ① 「自習」「レポート」「スクーリング」などを通して学び、単位認定試験を受けます。
- ② 単位を取るためには、特別活動（学校行事・宿泊行事・ホームルーム・ボランティア活動）への参加も必要です。
- ③ インターネットを通して学ぶ学校もあります。
- ④ 通学するペースを週1回～5回と選べるところが多く、学習内容も自分の興味に合わせた内容を学べる学校が多いです。
- ⑤ さまざまな事情をかかえた生徒が学ぶ学校やコースが設置された学校も多くなってきました。